



国会総行動12人参加、婦人部さいたま市女男フェスタに参加

浦和
民商
ニュース

2017・1.26国会総行動に参加しました

1月26日（木）正午日比谷公園に北海道から沖縄まで全国の中小業者1100名が参加、埼玉県から121名、浦和民商から12名が参加し集会後、国会までデモ行進を行ないました。その後、浦和民商は3班に分かれ国会議員に陳情をしました。埼玉県選出の国会議員に①地域経済の活性化②消費税を5%に戻すこと③社会保障の充実④マイナンバー制度の廃止⑤戦争法の廃止⑥来年4月から施行される国民健康保険税の『都道府県単位化』の廃止を求め要請を行ないました。あいにく議員本人に直接会えたのは3人だけ。あとは秘書対応でしたが、皆さんとても熱心で、なかには要請項目の内容で紹介議員の検討について考えると回答した方も複数いて、心強いものとなりました。



埼玉県代表として先頭に立つ香田会長（右側）



こうしちゃいられない！プラスチックカードを持ってアピールする浦和婦人部のみなさん

さいたま市長候補
前島英男さんに
政策提言



みんなのさいたま市を作る会（浦和民商も加盟している団体）より出馬要請を受け立候補した前島英男さん（1953年生さいたま市生・63歳 市内小学校で教師歴37年 さいたま地区労働組合協議会議長など歴任）

1、小規模企業振興基本法に基づき、中小業者への施策を拡充し、地域経済の振興を求め

- ①住宅リフォーム制度、商店版リフォーム助成制度を創設すること。
- ②小規模修繕業者の手続きについて申請手続きを簡素化すること
- ③登録した全ての業者へ平等に仕事を発注し地元にある本店のある業者に仕事を発注すること
- ④市民税、消費税などの分割納付をしても1年で支払えるならば登録させること。

2、国民健康保険税など地方税について

- ①2018年から導入される国民健康保険税の『都道府県単位化』は現在でも払えないほど高額なのに、38%の値上げに市が補助金を創設すること。
- ②地方税の滞納処分に対して、実態を無視した強権的な徴収は絶対に行なわない。滞納者の資質、状況を調査し対応する。

3、税法について

- ①税と社会保障の共通番号制について（マイナンバー制度）、中小業者にとって罰則適用もついた過大な負担が強いられています。また個人情報の漏洩、なりすましなど危険を完全に回避できない事例が起きていることから、国に廃止を求める。
- ②業者を差別している家族従業員の働き分を認めない、封建的な『家長制度』の名残である所得税法第56条の廃止に向けて尽力する。
- ③消費税増税反対、5%に戻すことを国に表明する。

さいたま市主催 第16回女・男(ひと・ひと)フェスタ 『ともに輝こう女と男』に参加

1月29、30日（日月）にシーノ大宮にて開催され市内のたくさんの団体が参加、日頃の活動の成果を紹介するワークショップの開催や発表をしました。浦和婦人部は、日頃の活動紹介とともに所得税法第56条の展示を行ないました。1日目は、作家で翻訳家の池田香代子さんによる『世界がもし100人の村だったら』の講演会が行なわれ、2日目は映画『夫婦フーフー日記』を上映、どちらも満員御礼の大盛況でした。



たくさんの方が来場



みんなで受付のお手伝い



会員様へお願い

3月31日まで春の運動・会員さん拡大運動中です。知り合いの業者さんをぜひご紹介下さい

労働保険加入は浦和民商へ

浦和民商は国の認可を受けた労働保険事務組合です。労働保険加入、特別加入、ひとり親方労災の加入など扱っています。

